

チャイルド・エイド・アジア



## 開催報告書

【企画・製作・主催】

# Little Creators

特定非営利活動法人リトル・クリエイターズ

〒107-0062 東京都港区南青山 2-2-15 ウィン青山 1403

[www.littlecreators.jp/](http://www.littlecreators.jp/)      [www.childaidasia.com/](http://www.childaidasia.com/)



この事業は、競輪の補助金を受けて実施しました。  
<http://ringring-keirin.jp>



【パートナー】

Little Arts Academy 10 Square Yu Neng Primary School (シンガポール)

The Smile Team (マレーシア) / RAINBOW of HOPE (インドネシア) / Atek Jacinto Studio (フィリピン)

【後援】

厚生労働省／東京都／在日本シンガポール大使館／在日本マレーシア大使館

(一社) 日本シンガポール協会

The Business Times Budding Artists Fund The RICE Co. Ltd. (シンガポール)

Child Aid Asia Fund @ KL (マレーシア) / Child Aid Asia Fund @ Jakarta (インドネシア)

The Band Alliance (フィリピン)

【協力】

東京都石神井学園／聖園子供の家

【助成】

公益財団法人 JKA



国際交流基金アジアセンター



Singapore International Foundation



【写真】

高橋正美

# 『チャイルド・エイド・アジア～Friendship コンサート』開催報告書

## 目 次

◎『チャイルド・エイド・アジア～Friendship コンサート』の開催について	3
◎『チャイルド・エイド・アジア』と『Friendship コンサート』2つのコンサートを開催する理由	4
◎開催の成果	5
■社会的ハンデのある子どもの活躍	
■若い才能の発掘	
■日本、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピンの交流	
■支援の輪の広がり	
◎交流事業	8
1) 児童養護施設東京都石神井学園 X Friendship コンサート出演者全員	
2) 大田区立洗足池小学校 X シンガポール公立 Yu Neng 小学校	
3) 児童養護施設聖園子供の家（神奈川県） X シンガポール公立 Yu Neng 小学校	
◎文化体験事業	9
1) 海苔のふるさと館と櫻	
2) 池上本門寺拝観とお茶席	
3) 折り紙体験	
◎観客アンケート	10
◎出演者アンケート	11
■オーディション合格者	
■Theater Joy『冒険者たち』2014 選抜メンバー	
■東京都石神井学園の子どもたち	
■海外からの参加者	

## ◎ 『チャイルド・エイド・アジア～Friendship コンサート』 の開催について

『Friendship コンサート』は、秋篠宮妃殿下、在日本シンガポール大使にご臨席いただき、1月12日（祝）、イイノホール（霞ヶ関）において開催いたしました。出演者は、日本、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピンの子どもたち58人。お客様からは、「アジアの国の子どもたちが音楽を通して国際交流を深め、歌、合奏、ダンス、どれをとっても素晴らしく感動し、心温まるコンサート」とご好評いただきました。

また、児童養護施設東京都石神井学園の6人の子どもたちが司会を務め、終演後には秋篠宮妃殿下にお言葉をかけていただきました。昨年の『チャイルド・エイド・アジア 2014』に続いての2度目のご臨席に、誰かに自分のことを見てほしいという心の声が妃殿下に届いたのだと感じたのでしょうか。その興奮ぶりと笑顔は本コンサートの趣旨を再確認させるものでした。

本コンサートは、厚生労働省、東京都からご後援をいただき、東京都知事の舛添要一様からは当日配布したプログラムにメッセージを賜り、内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官小泉進次郎様には昨年に引き続き電報を頂戴しました。

私どもNPO リトル・クリエイターズは、本コンサートの開催を通じて、ひとりでも多くの方々に出演した子どもたちの才能や可能性や私どもの活動内容をご理解いただき、恵まれない環境におかれた子どもが未来を生きる支えとなるようなコミュニティーを育みたいと願っております。コンサートをご覧いただいた皆様、ご支援いただいた皆様にご意見をいただきながら、精進を続ける所存ですので、どうぞ引き続きのご支援、ご援助をお願い致します。

### 『チャイルド・エイド・アジア～Friendship コンサート』開催概要

2015年 1月8日	16:00-17:30	東京都石神井学園主催	出演者交流会
1月9日	午前	Yu Neng 小学校、洗足池小学校を訪問	
		海外ソリスト及び随行者、海苔のふるさと館を見学	
	午後	海外参加者、池上本門寺見学、文化体験	
	夜	リハーサル	於：東京芸術劇場
1月10日	終日	リハーサル	於：東京芸術劇場
1月11日	午前	リハーサル	於：東京芸術劇場
	午後・夜間	リハーサル	於：イイノホール
1月12日	午前	リハーサル	於：イイノホール
	13:00-14:20	コンサート#1	於：イイノホール
	14:40-15:10	Yu Neng 小学校と聖園子供の家の子どもたちの交流会	
	16:30-17:50	コンサート#2	於：イイノホール
	19:00-20:00	レセプション	於：イイノホール

\*1月9日の海外参加者による学校訪問や文化体験などは大田区観光課のご協力のもと実現しました。

## ◎『チャイルド・エイド・アジア』と『Friendship コンサート』 2つのコンサートを開催する理由

『チャイルド・エイド・アジア』は、シンガポールのチャリティ・コンサート「ChildAid」との提携により、2011年に日本で初めて開催しました。音楽的才能豊かな子どもを国内外からオーディションで選抜し、彼らの演奏によって、恵まれない環境に暮らす子ども、特に児童養護施設で生活する子どもに芸術を通じた国際交流の機会を提供し、留学などの費用を集めることが主な目的です。同時に、児童養護施設の子どもの自己表現の場としても活用してきましたが、2013年、2014年と回を重ねるごとに参加国が増え、コンサートが認知され、質が高くなってくると、児童養護施設の子どものように音楽の訓練を受けていない子どもが参加できる範囲が限定されるようになりました。同時に国際交流の視点からも彼らがかかわれる機会が減ってしまいました。

そして『チャイルド・エイド・アジア 2014』終了後に、出演した児童養護施設の子どもたちから「自分たちももっと出たい、もっと海外の友だちを作って親しくなりたい」という声が集まりました。自分の存在をアピールする機会がほしい、誰かに認められたい、外の世界へ羽ばたいていきたい、という彼らの意思と受け止め、この子どもたちを中心に据えたコンサートを企画したのが『チャイルド・エイド・アジア～Friendship コンサート』です。

『Friendship コンサート』は、音楽に加え、ダンスや調査発表など音楽が得意ではない子どもでも参加できるように構成しています。また、コンサート当日だけではなく、事前に交流会や文化体験、ワークショップなど多様なプログラムを折り込み、参加者の交流に重点をおいています。演目も複数の国の出演者によるコラボレーションを中心に構成しました。さらに、児童養護施設の子どもたちを「おもてなし隊」に任命することにより、リハーサルの際に海外からの参加者の基本的な世話をする役割を果たし、彼らの国際交流を盛んにする仕掛けを作っています。

『チャイルド・エイド・アジア』が参加者数という観点から規模が大きく、質の高いクラシックを中心としたコンサートであるのに対し、『Friendship コンサート』は規模を縮小し、児童養護施設の子どもが舞台上で活躍できるような構成を工夫するとともに、音楽だけでなく様々なジャンルの表現活動の発表やコラボレーションを取り入れたプログラムを企画しました。

今後は隔年ごとにこの2つのコンサートを開催したいと考えています。



## ◎開催の成果

### ■ 社会的ハンディのある子どもの活躍

児童養護施設の子どもの声を聞いて企画された『Friendship コンサート』では、音楽以外の表現方法でどれだけ彼らが舞台の上で中心的に活躍ができるかが鍵でした。

#### ■ 司会と国紹介

石神井学園の子どもの中から希望する6人にそれぞれ国を一つ選び、観客に対して紹介をするように課題を与え、夏から国情報の調査、台本、発表の指導を行いました。それぞれにユニークな視点を持ち、また自分自身が抱える課題などとも重ねながら準備を行いました。彼らの意気込みに応え、進行役も任せることにしましたが、練習を重ね、見事に重責を果たしました。



#### ■ おもてなし隊

上述の石神井学園の6人に海外からの出演者がリハーサルで不自由をしないようお世話をするという役割を与え、事前に多少なりとも英会話などにも取り組みました。が、お世話をするより仲良くなることに重きがいていたようです。

#### ■ 合唱参加

今までのコンサートと同じように、テーマ曲の合唱に参加しました。(石神井学園)

#### ■ 美術作品紹介

昨年度から毎月開催している児童養護施設 聖園子供の家の美術ワークショップで子どもたちが作った作品を舞台上や当日配布プログラムで紹介しました。(聖園子供の家)

#### ■ コンサート鑑賞

聖園子供の家や双葉園の子どもたち、そして石神井学園出演メンバーの関係者がコンサートを観覧、惜しめない拍手を仲間たちに送ってくれました。

### ■ 若い才能の発掘

邦楽、洋楽器、歌などオーディション参加者のジャンルが広がりがつつありますが、今回は特にピアニストから応募がたくさんありました。そこで、ピアノと歌を中心に楽曲を選定し、コンサートの構成を考えました。コンサートの山場となった『サウンド・オブ・ミュージック・メドレー』は、オーディション応募者の演奏をヒントに再構成したものです



また、各国の出演者と共演したボーカルの吾妻真優さんは、すでに『Child Aid Asia @ KL』(2015年8月21日ー23日予定)とインドネシアで今年始めて行われる予定の『Child Aid Asia@ジャカルタ』への出演を打診されています。

## ■ 日本、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピンの交流

シンガポール 16 人、マレーシア 2 人、インドネシアとフィリピンからそれぞれ 1 人が来日し、日本の 38 人（聖園子供の家の美術作品参加人数はのぞく）と舞台を作りました。



『Friendship コンサート』では、ほぼすべての楽曲が国際コラボレーションでした。各出演者が夏から一人で練習をして、コンサート前の数日間に他の演奏者と合わせる作業を行いました。中には、お互いが勝手に別のアレンジを加えていて調整に戸惑ったグループもありましたが、それゆえにお互いの音楽性、性格の特徴が分かった様子で面白がって練習を続けました。

一番規模が大きいコラボレーションは『サウンド・オブ・ミュージック・メドレー』の『ドレミの歌』でした。演奏は、日本の秋山さんと大塚さんのピアノ連弾、ボーカルは日本、シンガポール、マレーシア、フィリピンのソリスト、ダンスは、シンガポールの Yu Neng 小学校と日本のシアター・ジョイ『冒険者たち』2014 選抜メンバー、と総勢 28 名による歌あり、ダンスありのビッグ・ナンバーです。Yu Neng 小学校の子どもたちは、日本に来てからの振付に少し戸惑いながらも、必死に練習をして見事な舞台を作り上げました。来日後すぐに出演者交流会を開催し、一緒に舞台を作る仲間と打ち解けられた結果だと思えます。

出演者たちが国や言葉を超えて仲良くなるのも本コンサートの成果の一つですが、年齢が高くなるにつれお互いの将来のこと（大学は何処の国のどんな大学へいくつもりなのか、将来音楽で食べていくのかどうか、など）にも興味があるようで情報交換を含めた会話がもたれる様子が見受けられました。お互いが刺激になって、広い視野で将来を見据えるきっかけになることを願っています。

すべてのプログラムの最後、12 日 16 時 30 分公演の終了後に劇場ロビーで行われたレセプションでは、写真撮影やサイン会を行った後、自然と 1 つの大きな輪を作りコンサートのテーマ曲を皆で歌って別れを惜しみました。数ヶ月の準備と数日の共演ではありましたが、意義ある、長く子どもたちの心に残る交流になったと感じています。

## ■ 支援の輪の広がり

何よりも誇らしくまた有り難い支援は、過去に『チャイルド・エイド・アジア』に出演した OB・OG が積極的にバックステージの手伝いをしてくれたことです。センター試験間近の子どももいて、学業への影響に心配がなかったわけではありませんが、お弁



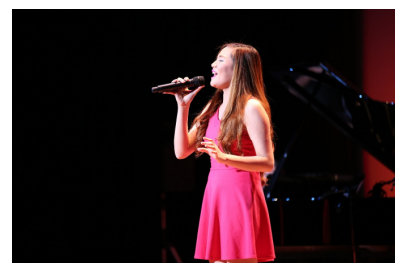
当配りやゴミ処理、リハーサルでの演奏アドバイスや本番での譜めくり、コンサート会場での寄付金集めなど、大活躍でした。コンサート終了後のレセプションでは、1月生まれの出演者のためにHappy Birthday をテーマ曲とアレンジして演奏してくれて（指揮、ピアノ、フルート、バイオリン、ギター、歌）、本当に特別な誕生日プレゼントを贈ってくれました。コンサートを続けることにより、子ども同士で助け合えるコミュニティーが育まれていることを実感し、嬉しく思っています。

OB・OGのPTAにもスタッフとしてご協力いただきました。

石神井学園の司会6人が希望した通り、舞台衣裳として着物をご用意いただき、宗教上の事情からいつも頭を抱える弁当の手配などを積極的に手伝っていただきました。本番だけでなく、石神井学園や聖園子供の家のワークショップにも参加していただき、子どもの顔を覚えて熱心に話しかけてくださる方もいます。支援の輪が広がるにつれ、コンサートの果実も増えています。



日本社会事業大学の学生さんもボランティアとして参加してくださいました。前回はお客様でしたが、今年は舞台裏で駆け回ってくださった方もいます。コンサートのお客様からのご寄付は、2回公演合計で174,075円にのぼりました。一銭も無駄にせず、恵まれない環境におかれた子どもたちのために使います。



## ◎交流事業

### 1) 児童養護施設東京都石神井学園 X Friendship コンサート出演者全員

主催：東京都石神井学園 NPO リトル・クリエイターズ

会場：東京都石神井学園

日時：2015年1月8日 16:00-17:30

国内外のコンサートの参加者を歓迎し互いに紹介をし合うとともに、ゲームなどを行って親睦を深めました。シンガポールの Yu Neng 小学校の生徒たちは、レインボー・ルームという今シンガポールではやっている輪ゴムで作るプレスレットの作り方を紹介、最後にはすべての参加者がカラフルなプレスレットを自慢げにつけていました。また、石神井学園からは日本の伝統的な玩具としてコマ回しや竹とんぼを紹介し、全員がどちらかの木製玩具にマジックで色付けをして、その後実際にそれらを使って遊びました。また皿回しなども提供され、言葉を超えてあっという間に全員が仲良くなりました。



### 2) 大田区立洗足池小学校 X シンガポール公立 Yu Neng 小学校

主催：大田区立洗足池小学校 NPO リトル・クリエイターズ

会場：大田区立洗足池小学校

日時：2015年1月9日 10:10-13:30

洗足池小学校の3、4時間目と給食の時間に訪問。3時間目は体育館での交流会で、校長先生のお話の後児童たちから学校の紹介と見事なブラスバンドによる演奏が行われました。Yu Neng 小学校の児童はお返しにダンスを披露しました。4時間目は各クラスを訪問し交流を深めましたが、中でも書道を行っていたクラスでは Yu Neng 小学校の児童が書道を体験、メッセージ付き台紙に貼ってお土産としていただきました。また給食も体験し、美味しいと完食。モスラムの子どもが同じ物を頂けなかったのは残念でした。最後は5、6年生に見送られて学校を後に。両校の姉妹校調印の話も生まれており、今後の交流も期待できそうです。



### 3) 児童養護施設聖園子供の家（神奈川県） X シンガポール公立 Yu Neng 小学校

主催：NPO リトル・クリエイターズ

会場：イイノホール ホワイエ

日時：2015年1月12日 14:40-15:10

2014年秋、リトル・クリエイターズが毎月美術ワークショップを行っている聖園子供の家の子どもたちが、日本の自然を紹介する大きなコラージュ作品を製作、1月に実際に会うことを楽しみに Yu



Neng 小学校に贈りました。お返しに Yu Neng 小学校の児童が、コンサートを観に来た 19 人の聖園子供の家の子どもたちに絵画作品を贈り交流の証としました。始めは照れからなかなかお互いに近づかなかったのですが、ジェスチャーだけでお誕生日順に一行を作るというゲームをやった所、同じお誕生日の子供がいたり、一日違いだったりで大騒ぎになり、最後はごちゃ混ぜになって遊んでいました。コンサートの間の短い交流会でしたが、双方ともよい思い出ができたようです。

## ◎文化体験事業

大田区観光課のご協力のもと、1月9日、海外からの参加者には日本文化を体験する機会を提供することができました。

### 1) 海苔のふるさと館と櫻

海苔は何で出来ていて、どう作られるのか——実際に作ってみたり、あぶって食べてみるなど、和食の代表とも言える食材に触れる機会が与えられました。参加者はシンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピンのソリスト出演者と保護者など。その後、同じ大田区にあるレストラン『櫻』にて本格的和食を食べ、世界文化遺産にもなった和食を実感する事が出来ました。

### 2) 池上本門寺拝観とお茶席

ソリストたちは池上本門寺を訪ね、日本仏教の歴史や伽藍を紹介いただきました。その後、洗足池小学校を訪ねていた Yu Neng 小学校の児童も合流して、朗峰会館でお茶席に招かれました。始めて体験する子どもばかりで正座もままなりませんでしたが、緊張した面持ちで、それでも美味しくお茶を味わっていました。



### 3) 折り紙体験

同じ朗峰会館内で、折り紙の折り方を教えていただきました。ゆっくりでも丁寧に角と角を併せてという指導に、子どもよりも引率の先生や保護者が悪戦苦闘。鶴や騙し舟、飛行機などを折りました。大きな部屋で誰の飛行機が一番飛ばか競争してみたところ、まっすぐに飛ばない物が多く、角と角を併せて折らなかったことの「弊害」を認識したようでした。



日本の文化は、繊細さと丁寧さの上に成り立っていると感想を漏らした子どもの声が印象的でした。

## ◎観客アンケート

- ◆ アジアの国の子ども達が音楽を通して国際交流を深め、歌・合奏・ダンス、どれをとってもすばらしく感動し、心温まるコンサートでした。毎年企画をこらし、感動あふれるコンサートに感激です。来年のコンサートも楽しみにしています。ステキなステージ、ありがとうございました。（東京都・60才女性）
- ◆ みんな歌が上手くてとても感動しました。演奏もとてもよかったです。日本といろいろな国々が交流するのはいいことだと思いました。知っている歌もなんこかあったのでとても楽しかったです。（東京都・12才女性）
- ◆ 素敵な時間をありがとうございました！緊張でドキドキが聞こえてきそうな一生懸命な姿に感動しました。シンプルなステージに子供達の未来への輝きがデュレートされていて、それはそれはすばらしいステージでした。心からの拍手を送ります。（神奈川県・60才女性）
- ◆ 素晴らしいコンサートでした。来て良かったです。ありがとうございました。国際交流ということもあるので、みんなで歌い、演奏する曲が印象的でした。「サウンド・オブ・ミュージック」、フィナーレの「輝く明日へ」が特にすばらしく、観ていて楽しくなりました。英語はわからないけど、司会のグルさんが明るくテンポ良く、進行もとても良く、一番印象的な歌声はジャニンさんの堂々と、清涼あるきれいな歌声でした。娘（12才）と同世代の子どもたちの演奏に刺激を受けました。（東京都・45才女性）
- ◆ Thank You! 素晴らしい音と歌を有難うございました。今回のコンサートで、音楽に国境は関係ないということを心から感じられました。また、ヴァイオリンで Funk music を奏でられるとは思ってもせず感動しました♪ 透き通る歌声、元気な踊りをありがとう♪ I have a good time!（東京都・20才女性）
- ◆ 毎年来させていただいています。回を重ねる毎にレベルが上がっていくことを感じていましたが、今年はこちらが応援するというより、一観客として元気をいただきました。スタッフを含めた全員が充実の日々（将来）となることを確信しつつ——まことにありがとうございました。（東京都・42才女性）

## ◎出演者アンケート

- 1.コンサートで一番楽しみにしていたことは何ですか？また、それは実現しましたか？
- 2.一番大変だったこと、努力したことは、何ですか？
- 3.参加して良かったと思うことは何ですか？
- 4.「もっとこうしたらよかった」と思うことはありますか？
- 5.またコンサートに出演するとしたら、次はどんな事がやりたいですか？
- 6.コンサートに出演した感想を自由に書いてください。

### ■オーディション合格者

#### ◆吾妻真優（ボーカル 11才）

1. 海外の人達と言葉がわからなくても、仲良くすることと、楽しく充実した日々を過ごすことでした。そして本当に実現して、色々な人と仲良くでき、楽しくて充実した日々が過ごせました。
2. 「めぐる季節」が一番大変でした。予定表には練習が一回しか入っていませんでした。でも、他のレッスンとの合間をぬって皆で沢山練習しました。他には英語がわからなくて困ったけれど、身ぶり手ぶりで伝えました。
3. 歌で色々な人の支えんができたことです。数日間だけだったけど沢山のひとと仲良くなれて、日本語でも英語でも関係なく過ごせたことです。また、国境をこえて人と人とのつながりを築けたことです。
4. 自分のやれることは全部やったと思います。けれど、もっと積極的に仲良くしたらよかったと思います。
5. 一人で舞台に立って堂々と歌いたいです。コラボの曲はもっと練習時間を増やしたいです。英語を話せるようになって、沢山のひとと交流を深めたいです。本番では集中力を切らさずに最後まで歌いきりたいです。一番したいことは今回より全力で楽しみたいです。
6. 交流会の日、「どんなことがあるかな？」とドキドキワクワクしていました。実際に5日間交流してみると、お肉が食べられなかったり、両親とわかれて生活していたりする人達がいるとわかり、とても勉強になりました。自分がとても幸せだということを改めて実感しました。どんな国の人達とも「音楽」があるから通じ合えたと思います。やはり「音楽」は大切な物だということがわかりました。とても良い経験ができました。ありがとうございました。

#### ◆内田真麻（エレクトーン 13才）

1. 出演者の方達との交流（特に外国の方）。また、石神井学園の人達に会う事や、出演者全員で歌う事。
2. 私は、皆さんの歌を支える役割でもあるので、もちろん間違えないで弾く事。皆さんに自分の気持ちを伝える事。出演者の方達との交流を深める事。
3. 日本の出演者の方達との交流、特に外国の出演者の方達とは、めったに競演できないと思うので、その機会があって良かったです。そして、このコンサートに参加した事で少しずつ、自分に自信をもてるようになりました。本当に良かったです。
4. 最初から出演者の方達とお話ししていたら良かったなと思います。時間は限られているので、積極的に話をするようにしたいです。あとは、もっと英語が話せたら良かったと思いました。
5. エレクトーンだと難しいと思いますが、他の楽器の方と共演してみたいです。オープニング・フィナーレの歌で、皆さんと共演させていただきましたが、その他にも共演する機会があれば嬉しいです。一番は、自分のオリジナル曲で出演することです。
6. 初めてこのようなコンサートに出演させていただきました。いつものステージとはまた一つ違って、私は緊張しました。むしろ、外国の方達と共演する事はほとんど無かったので光栄でした。もちろん、皆さん演奏が上手くて、こんな方達と共演しているなんてっと思いました！ボーカルの方達の歌唱力もびっくりしました！そして、普段お会いする事の難しい、石神井学園の方達などにお会いできた事も嬉しかったです。このようなコンサートができた事に感謝します。

◆及川璃紗（三味線 16才）

1. 国際交流。実現しました。
2. 2人で三味線を弾くことがいままでなかったので、大変だったし、努力しました。
3. 国内外の友達が多くできたこと。三味線を全く知らない人の前で弾いたこと。
4. なし
5. 同じく三味線を弾かせていただきたいです。
6. （公演が2回あるなど）はじめてのことがとても多く、とまどってしまったり、周りの方に迷惑をかけてしまいましたが、このような場で三味線の演奏ができたこと、他の同年代又は年下の子達の様々なジャンルの演奏やダンスをみることができ、とても楽しかったです。有難うございました。

◆大塚菜々子（ピアノ 17才）

1. 会場にいる全員で音楽を楽しむことです。会場が一体となっているのがステージに伝わってきて、私自身がとても感動しました。
2. 英語でコミュニケーションをとることが、英語が苦手な私にとって一番大変でした。
3. アジアの国々の子供たちと音楽を通して交流できたことです。
4. もっと英語を勉強していろいろなことを伝えられるようになりたいです。
5. 今回演奏した「サウンド・オブ・ミュージック」のように、誰もが知っている曲を大人数で演奏したいです。
6. 初日の交流会から本番までのすべての時間が楽しく、忘れられない思い出になりました。音楽が大好きな仲間と、心から音楽を楽しみ、演奏する喜びを分かち合うことができました。音楽をやっていて良かったと改めて感じる事ができたコンサートでした。これからは音楽の素晴らしさをたくさんの人に伝えていきたいです。

◆加藤優佳（ピアノ 12才）

1. 海外からの出演者との共演。皆さんとてもフレンドリーで、本番楽屋も楽しく、お互い信頼して音楽を作ることができたと思います。
2. クラシック以外の曲を人前で演奏することが、学校の集会以外では初めてだったので、どのような感じに仕上げれば良いか悩みました。
3. 音楽を通して仲間ができたこと。ピアノは普段、一人で弾きますが、コンサートにはたくさんのスタッフの方がいらして、たくさんの人に支えられてステージに立つことの責任と、幸せを感じることができたこと。
4. オープニングとエンディングでもっとはじけたら良かったかも、と思いました。
5. 近藤愛花さんみたいにダンスが入るピアノとか、おもしろいことをやってみたいです。
6. とても楽しかったです。新しい出会いと発見がありました。音楽は本当に楽しいし、人に勇気やパワーを与えるものだと思います。演奏した私自身が共演者からたくさんの感動をもらいました。ありがとうございました。

◆近藤愛花（ピアノ 17才）

1. いろんな国の子達と友達になれること。実現しました。
2. 普段はクラシックの音楽ばかり演奏しているので、初めての事が沢山あったこと。リハーサルの2日間で少しでも楽しい音楽になるように練習しました（笑）
3. 今まで知らなかった色々な国の事を知ることができたこと。色々な演奏が聴けて楽しかった！
4. 英語をもっと勉強したいなと思いました。
5. クラシックの曲のコラボ
6. 短いリハーサルでちゃんとできるか不安もありましたが、始まってからは本当に楽しくて、あっという間に終わってしまいました…！分からない事があると、スタッフの方達が丁寧に教えて下さり、とっても感謝しています。みんなで歌ったり、演奏したり、おしゃべりしたり、音楽を通しての仲間

と本当に楽しんで4日間過ごすことができました！ありがとうございました。

#### ◆山口裕城（三味線 16才）

1. コンサートに参加してくださった皆さんと、どんなコンサートにできるか。皆さん個性的で、魅力的だったので、とても色鮮やかなコンサートにできて嬉しいです。
2. 全体合唱です。皆さんとても大きな声で圧倒されました。まけじと大きな声を出そうと頑張りました。
3. アジアという外国に触れることができたことです。世界への見方が大きく変わりました。
4. 皆さんともっと話せれば、とつくづく思っています。親しみやすい方々だったので、今も少し後悔しています。
5. 今度は自分も積極的に行動することを意識したいです。見えてくる世界も違ってくると思うからです。
6. 自分の中にとっても大きなカルチャーショックがおこりました。いままで直に触れることのなかったアジア（外国）の世界に触れることができたので、大いに感動しています。今コンサートに出演でき、心から感謝しています。

#### ■Theater Joy『冒険者たち』2014 選抜メンバー

##### ◆相川千晶

1. 外国の方との交流。実現しました。
2. 振りをはやく覚えてしっかり踊れるように頑張りました。英語でのコミュニケーション。
3. 国内、国外問わず、仲間の和が広がったこと。
4. 海外の方や子供たちに紙に名前を書いてもらうなどして、名前を覚えればよかった（口頭のと看、名前が聞きとれなかった）
5. もっと濃密に歌や踊りを一緒にやりたいです！
6. 今までのなかで一番、周りを感じて舞台に立つことができました。海外の子たちとも、言葉を上手に伝えることができなくても歌や踊りを通して仲良くなることができ嬉しかったです。

##### ◆岩崎杏珠

1. アジアのいろいろな国から来た人達と一緒に歌えたことです！！もちろん、叶いました！！
2. 英語の歌詞を歌うのが大変でしたが、歌っているうちにだんだんなれて、本番ではアジアの国のみんなで歌えて嬉しかったです。
3. 国際交流を通じて、いろいろな国の人と仲良くできた事です。
4. 特になし。
5. もっと踊ったりしてみたいです！
6. 嬉しかったです。言葉の壁を超えた楽しさは一生の宝物です。また出たいです！

##### ◆貴志美南

1. たくさんの国や地域の人たちに会えることです。仲良くなれました。
2. 英語の歌詞の発音です。
3. たくさんの方々で仲良くなれたこと、英語に親しめたこと、さまざまな国の現状がしれたことです。
4. もっと早くから積極的に話しかけて仲良くなればよかったです。
5. もっとたくさん出演したいです。
6. とても嬉しかったです。外国の方と話す事ができ、いい経験になりました。ありがとうございました。

##### ◆瀬尾紗彩

1. 石神井学園やシンガポールとの交流。実現した。
2. ちがう国の言葉で話すこと。

3. たくさんの人と仲良くなれたし、冒険者メンバーとももっと仲良くなれた。
4. ない。
5. もっと英語を勉強してたくさん話したい。

#### ◆田中杏佳

1. 外国の方がとの交流です。楽屋も一緒だったので（シンガポールの子）、仲良くなることができました！
2. やっぱり言葉の壁です。たまに意味がわからないことがあって、先生にも手伝っていただきました。
3. アジア各国の文化に触れられたことです。国によって対応の仕方が違うのが面白いと思いました。
4. もっと写真を撮っておけばよかった！！（笑）
6. 私は英語が好きなので、出演が決定したときからとてもわくわくしていました。外国の友達はとても嬉しくて、楽屋や舞台裏ではハイタッチをしたり、手を振ったり、声をかけ合ったりして、お互いに楽しんで舞台に臨めたと思います。それにソリストの皆さんが素晴らしくて勉強になりました。また出演したいです！ありがとうございました!!!

#### ■東京都石神井学園

##### ◆かつき（MC 15才）

1. 海外の人と友達になること
2. 自分はMCで、最初の部分だけで、そのすくない中でどれだけせいっぱいがんばれるかというところ。
3. また新しく海外の人と友達になれたこと。
4. 練習にあまり参加できなかったから、もっと参加すればよかったと思う。
5. 今年から学園を出るから、コンサートには出れないけど、でも、コンサートのオーディションなどをうけて出たいと思います。
6. 去年はMCをやって、今年もMCをやった。でも今年去年よりとてもがんばった。イヤなこともあったけど、その分いい事もあったからよかったと思う。

##### ◆なつみ（MC 15才）

1. たくさんの人達と国境をこえて交流し、仲良くなること。実現してよかった。
2. MCでかまないこと。聞こえやすくすること。
3. 国境をこえて様々な人達と交流できて、友達になれたこと！
4. 英語を勉強しとけばよかった…。かみすぎた…。もっと滑舌をよくする練習をしとけばよかった！
5. MC!!! 絶っっっ対、MC!!!
6. このコンサートを通じて、色々な国の人々と、言葉はわからなくても、身ぶり手ぶりで何を伝えたいかがわかって面白かった。そして、その国々のことをもっと知りたいと思うことができたし、その国々の人達と仲良くできた。でも、言葉がわからなくて、もっと勉強すればよかったと思った。またこのような機会があれば、是非参加したい。「チャイルド・エイド」は様々なことが学べるコンサートだと思った。「チャイルド・エイド」、最高!!!!

##### ◆はるか（MC 14才）

1. 色々な人達との交流です！当時は、皆さん、とてもフレンドリーで楽しかったです！！
2. 私は、MCだったので、口を大きく開けて、はっきりと言うことが一番大変でした。
3. コンサートで皆の心が一つになったことです！
4. はずかしさを捨てて、もっとはきはきと言えばよかったと思いました。
5. MC（?）
6. 私は、このコンサートが初めてだったので、とても緊張しました。でも私は、交流がとても興味があり、一度はこうゆうのをやってみたいなと思ってたので、コンサートに出演できて、とても嬉しかったです！そして、とても楽しかったので、来年もぜひ参加したいです！！

◆みく（MC 16才）

1. 海外の人達との交流とMC！！楽しかったけど、もう少しってとこだったかな？
2. MCとして言う言葉を考えること。
3. 「個人」として舞台に立てたこと！新しい知り合いがふえたこと！
4. コミュニケーション。英語を勉強！発表する時の声の大きさやスピードの調節。
5. MC☆あと、何かのプチコーナーみたいなの。
6. 今回は前回とかより出番があったし、心から楽しめた。来年がすごい待ち遠しい！心の中に言葉では云えない何かがある。その何かを、大切にしたいって思う！！  
ありがとうございました！！

◆もえみ（MC 14才）

1. はい。お客さんがいっぱいきてくれました。
2. MCの練習です。
3. 友達や家族にほめられた事。
4. 練習しておもしろくいえばよかった。
5. MC？
6. 楽しかったです。感謝してます！

◆あいか（11才）

1. 歌を上手に歌えたこと。
2. 歌を全部おぼえること。
3. ほかのしせつの子ども達といっしょに遊んだこと。
4. 大きな声で歌えばよかった。
5. ダンスをおどること。
6. たのしかったです。

◆あいか（12才）

1. 歌をさいごのフィナーレで歌えたことです。
2. 英語で会話をしたことです。
3. 外国の人と歌えたことです。
4. 次からは歌うときに高い声をだしたいです。
5. お世話係です。
6. またいろんな人に会いたいです。

◆あやか（11才）

1. 歌を歌うこと。
2. 口を大きくあけてゆれることを努力した。
3. いろいろな人と友達になれたこと。
4. ないです。
5. わかりません。
6. いろいろな人と友達になって努力し、がんばって歌えたこと。

◆こうだい（8才）

1. 歌を歌うこと。
2. 歌を全部おぼえること。
3. スイミーさんと山田マリさんと話したこと。あと、写真をとったこと。
4. えがおで歌うこと。
5. ダンスをおどること。
6. なかはらさんにほめられたこと。あと、歌ったこと。おぼえたこと。

◆ちか（11才）

1. 色々な国の人に会えること。
2. 歌を覚えること。
3. 色々な国の人に会えた。
4. 大きな声で歌ってればよかった。
5. う～ん？あまりないです。
6. すごくはずかしかった。

◆たくみ（8才）

1. 歌をがんばりました。
2. ゆらゆらするのがむずかしかったです。
3. みんなと歌ったこと。
4. ふうふうしちゃったから、こんどはしないようにする。
5. もっとうたう。
6. おいしいご飯が食べれてうれしかった。またきたいです。

◆みゆ（9才）

1. おべんとうと、歌うこと。
2. 部屋があつかったので、あついのをがまんしました。
3. もっと歌がうまくなって良かったと思った。
4. もっと、右、左、右、左、すればよかった。
5. ダンスをおどる。
6. わたしは、アジアの子ども達とふれあい、歌う経験ができてうれしいです。もっと上手に歌いたいです。

◆ゆうな（9才）

1. 歌を歌うこと。
2. えがおで、大きな声で歌った事。
3. みんながえがおになってくれた事。
4. もうちょっと大きな声で歌ったほうがよかった。
5. おどりを付けたい。
6. たのしかった。

◆りほ（11才）

1. コンサートはどのぐらいかを楽しみにしていました。
2. 声をだすところ。
3. 思うぞんぶんに、声をだして良かったな～って。
4. 体をもっとゆらして、英語を覚えたいです。
5. ダンスをやりたい。
6. もういっぱい、コンサートにでてダンスや歌を覚えるのをがんばりたいです。

## ■海外からの参加者

### ◆Lois（シンガポール）

1. 日本は、いつでも行ってみたい国の1つだったので、夢が叶いました。コンサートにあんなにたくさんの方がかかわっていたとは思いませんでしたが、出演者からバックステージの人まで皆とても親切で、最高のお世話をして下さり、コンサートの最中も助けて下さって嬉しかったです。
2. 日本語の歌を覚えるのが大変でした。前に聞いたことの無い歌でしたし、詩を覚えるのが難しかったです。日本人の出演者との共演だったのですが、彼女が歌詞の意味をちゃんとわかっている一方で、私はよくわからない歌詞の字面に頼るしかなかったので、彼女のように上手には歌えない、と不安でしたが、幸いにも、一緒にリハーサルをして、彼女は辛抱強く助けてくれました。
3. 新しい友だちをたくさん作ることができました。一緒に過ごせて本当に良かったです。私は日本語を知りませんが、たくさんの子が基本的な英語を話していましたし、同じ言葉を使さなくてもボディ・ランゲージや行動でお互いを理解することができました。間違えたとしても、皆で笑うことができて、結局大きな問題にはなりませんでした。
4. もっと日本人の子供と交流する時間があれば良かったと思います。皆とても元気そうなのですが、同じホテルにいなかったのでリハーサルでしか会えませんでした。皆と仲良くなるには少し時間がかかりました。そしてコンサートが終わったとき初めて、もう皆とは会えないのだと気づき、もっともっと彼らを、得に石神井学園の皆を、知ることができずにとっても残念に感じました。
5. 今度は招待国の子どもたちとも一緒に観光ができるといいなあと思います。リハーサルの時だけではなくてお互いにもっと時間を共にすることができると思うからです。
6. リハーサルと撤収の時に、もっと食べるものが欲しい。それからグループ活動があればいいのに！

### ◆Clarissa（インドネシア）

1. 新しい友だちに出会って仲良くなること。
2. はい、期待通りでした。
3. コミュニケーションです。コミュニケーションをとりたいのに思うようにできなかった。私が英語を話すのが下手だからです。
4. 新しい友だちを作って、分かち合って、冗談を言い合って、一緒に公演して、皆で頑張れました。
5. 何も残念に思うことはありません。
6. 次はもっと上手に演奏します。

### ◆Janine（フィリピン）

1. 優しくて才能豊かなアジアの新しい友だちと出会うこと。
2. 日本の児童養護施設の子供も、フィリピンの同じような境遇の子供もと比べてずっと良い環境で世話を受けているように感じました。
3. 何も後悔するようなことはありませんが、今後も『チャイルド・エイド・アジア』を支援し続けられるよう、私自身も成長していかなければと思います。
4. 製作スタッフも皆ボランティアだったのに驚きました。
5. 母も私もホテルがとても快適で嬉しかったし、空港に迎えにきて下さり、また送って頂いて、本当に嬉しかったです。
6. 私にとって本当に良い経験でした。またいつか『チャイルド・エイド・アジア』に参加したいです。